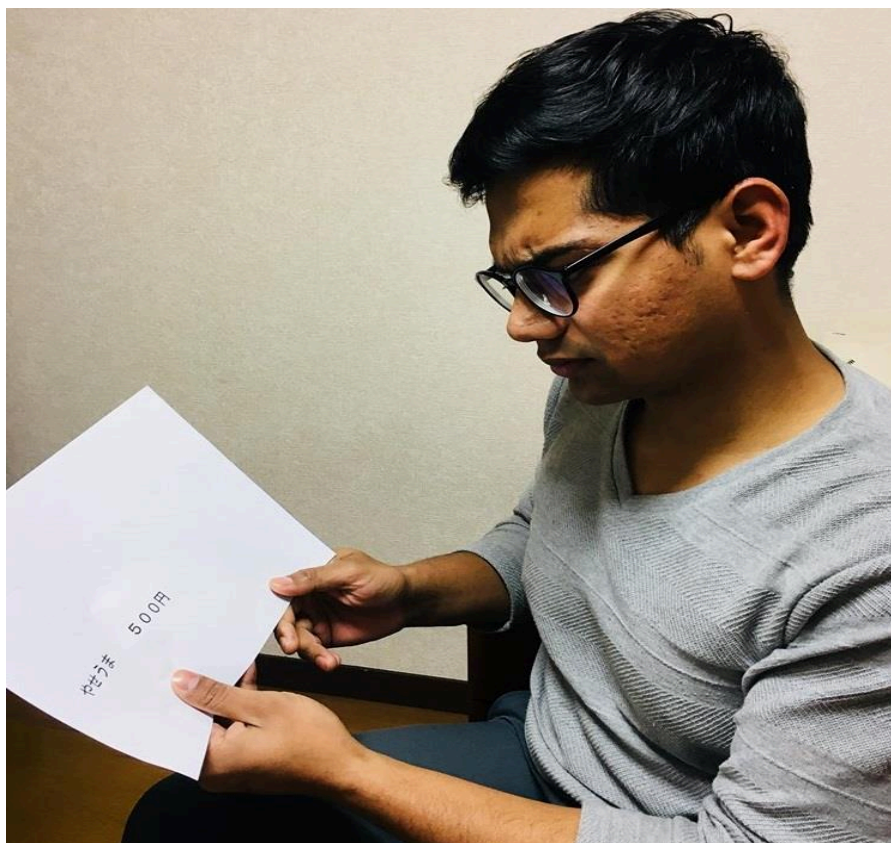


# やせうま





朗読音声のダウンロード  
Audio download

## ★<sup>よ</sup>読む<sup>まえ</sup>前に Before you read

### 《<sup>たどく よ かた</sup>多読の読み方》

<sup>たどく</sup>多読とは、とてもやさしい<sup>ほん</sup>本から<sup>たの</sup>楽しくたくさん<sup>よ</sup>読んで<sup>にほん</sup>日本語を<sup>み</sup>身につけていく<sup>ほうほう</sup>方法です。

<sup>つぎ</sup>次の4つのルールを守って<sup>たの</sup>楽しく<sup>よ</sup>読みましょう。

1. やさしいレベルから<sup>よ</sup>読む
2. <sup>じしよ</sup>辞書を引かないで<sup>よ</sup>読む
3. わからないところは、とばして<sup>よ</sup>読む
4. <sup>すす</sup>進まなくなったら、<sup>ほか</sup>他の<sup>ほん</sup>本を<sup>よ</sup>読む



### 《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.



「やせうま」を知<sup>し</sup>っていますか。

やせている<sup>うま</sup>馬ですか。



いいえ、やせうまは<sup>どうぶつ</sup>動物ではありません。

<sup>おおいた</sup> <sup>ゆうめい</sup> <sup>た</sup> <sup>もの</sup>  
大分の有名な食べ物です。

<sup>た</sup>  
食べたことがありますか。



これがやせうまです。



こむぎこつく  
小麦粉で作ります。

うどんのような食べ<sup>た</sup>物<sup>もの</sup>ですが、甘<sup>あま</sup>いです。

さとう<sup>さとう</sup>ときな<sup>こ</sup>粉<sup>た</sup>で食べます。



こむぎこ  
小麦粉



こ  
きな粉

さとう  
砂糖

おもしろい<sup>なまえ</sup>名前ですね。

どうして「やせうま」という<sup>なまえ</sup>名前でしょうか。

へい あん じ だい

はなし

きょう と

かねも

いえ

つるきよまる

げん き

おとこ

11

や せ

おんな

ひと

おとこ

15

せ

ふた　り

きょうと

おおいた

我

せいかつ

はじ

つるきよまる

きんじょ

こども

まいにちげんき

あそ

いました。



ある日、鶴<sup>ひ</sup>清<sup>つる</sup>麿<sup>きよまる</sup>はおなかがすいて、「おいしい物<sup>もの</sup>を作<sup>つく</sup>って」と八<sup>や</sup>瀬<sup>せ</sup>に言いました。八<sup>や</sup>瀬<sup>せ</sup>は、小<sup>こ</sup>麦<sup>むぎ</sup>粉<sup>こ</sup>ときな粉<sup>こな</sup>を使<sup>つか</sup>って甘<sup>あま</sup>い食<sup>た</sup>べ物<sup>もの</sup>を作<sup>つく</sup>りました。



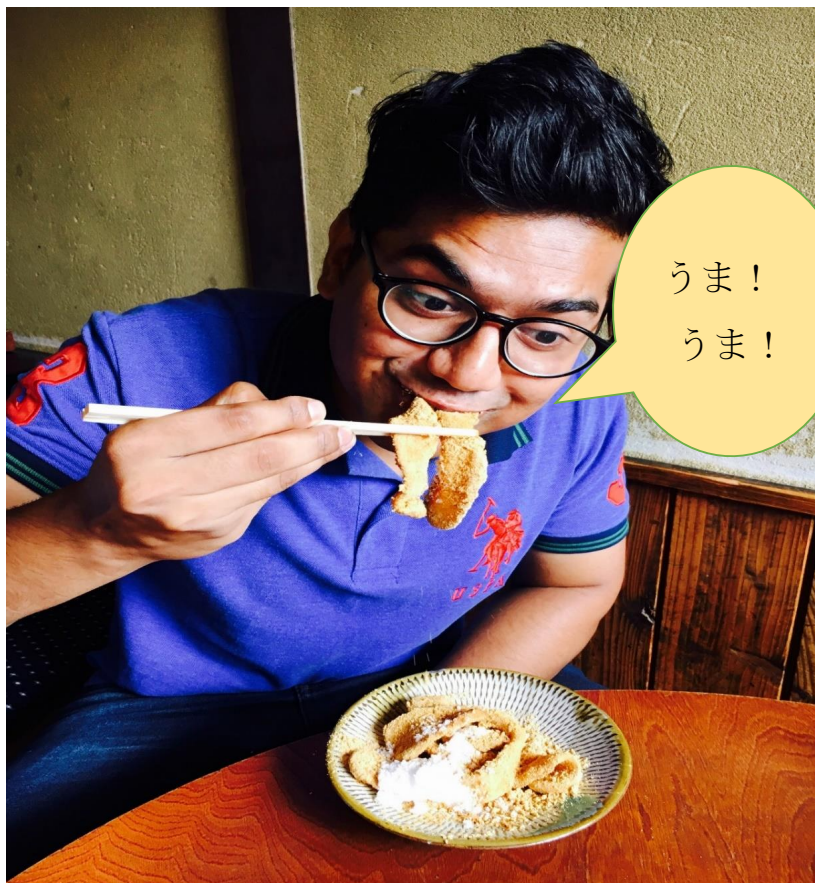
つるきよまる や せ い た  
鶴清麿は「八瀬、うま、うま」と言いながら、ぜんぶ食  
べました。「うま」は、おいしいという意味です。鶴清  
まる や せ  
麿は、これが食べたいとき、いつも「八瀬、うま、う  
ま」と言いました。それで、この料理の名前は「やせ  
うま」になりました。



やせうまは、<sup>おおい</sup><sup>た</sup>大分で食べることができます。

<sup>えん</sup><sup>えん</sup>350円～500円ぐらいです。

ぜひ<sup>た</sup>食べてみてください。



ちよしや      かつき ま 紗 み  
著 者   :   香 月 真 由 美

          おおいたはつ      よ      かい      かいじん  
          ( 大 分 発 わ く わ く 読 み も の を つ く る 会    会 員 )

協 力   :   NP0多言語多読 (<https://tadoku.org>)

写 真 提 供   :   別 府 市 観 光 協 会

写 真 協 力   :   Shaikat Hasan

渡 辺 若 菜

甘 味 茶 屋

イ ラ ス ト   :   香 月 七 海

参 考 資 料   :   『大分の伝統料理』(1988) 大分合同新聞社

『にっぽんのおやつ』(2015) 白央篤司

はさまちょうし  
『挟間 町 誌』(1984) 挟間町誌編集委員会編

『挟間町の伝説と民話～古人より 第1集』(2004) 挟間町教育委員会編

ほん    なか                      しゃしん    に    じ    しょう    きん  
この本の中のイラストや写真の二次使用を禁じます。



